

第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元 学習したことを生かして「モチモチの木」 (齊藤 隆介 作)
 2 学習指導の考え方

このような子どもたちだから

本学年の子どもたちは、これまでに「きつつきの商売」「三年とうげ」「ちいちゃんのかげおくり」の学習において、登場人物の様子や気持ちを読み取る学習をしている。その際に、「にた言葉と比べて読む、言葉ははずして読む、繰り返しを読む」読みアイテムを活用しながら、自分の読みをもとに友達との違いに気づいて、深める学習をしてきた。さらに、「場面と場面をつないで読むやダッシュを読む」読みアイテムを習得し、場面と場面を比べて読む読み方を習得し、いろいろな読み方を使って読みたいという意欲が高まっている。しかし、中心となる叙述に立ち止まることはできても、どの言葉をどのように読んだらよいか、自分から使えそうな読みアイテムに気付いたり、進んで活用したりして読み取ることができる子どもは、まだ少ない。

このような教材で		このような指導・支援を行いながら
<p>本教材「モチモチの木」は、語り手が登場し、語り手の視点から描かれており、登場人物の様子や思いを想像しながら読み取ることができる。</p> <p>また、5つの場面で構成され、それぞれ、1行空きがあり、小見出しが書いてあるので場面構成が捉えやすく、場面の移り変わりがわかりやすい。</p> <p>こうした特質を踏まえて、本教材で習得・活用する読みの技能を次のように考えた。</p> <p>(活) にた言葉と比べて読む。 「もぐりこむ」を「入る」と比べてやろうともせずあきらめてしまった豆太の気持ちを読み取る。</p> <p>(活) 指示語を読む。 冒頭の「それなのに」が、じさまやおとうの勇敢な姿を指していることをとらえさせる。</p> <p>(活) ダッシュを読む。 「おくびょうなんだろうかー」「とってもだめだー」「ふもとの村までー」から語り手の豆太への思いや豆太の様子や気持ちを読み取る。</p> <p>(習) 場面と場面を比べて読む 冒頭と5の場面を比べてしょんべんに起こす豆太のじさまに甘える気持ちを読み取る。</p> <p>(習) 場面と場面をつないで読む。 冒頭のモチモチの木の様子と「やい、木い」の場面をつないでおくびょうぶりを読み取る。</p> <p>(習) 語り手を読む 語り手の豆太に対する思いを読み取る。</p> <p>(習) 繰り返しを読む 2つの「なきなき走った」を比べて、痛さや寒さ、こわさをがまんしてでもじさまを助けるために走った豆太の気持ちを読み取る。</p>		<p style="text-align: center;">このような指導・支援を行いながら</p> <p>○ つかむ段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題名と冒頭の小見出しから、豆太はモチモチの木をこわがるおくびょうであることをとらえさせ、語り手の豆太への見方から読みのめあてをつくる。 ・ さし絵を手がかりに豆太がしたことからあらすじをとらえ、読みのめあての答えをまとめる。 ・ おくびょうな豆太はどうなったのか話し合い、各場面で何を読み確かめるか学習計画を立てる。 <p>○ 深める段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画をもとに、中心文をはっきりさせ、どの言葉をどのような読みアイテムを使って読むか、書き込みの視点をはっきりさせ、見通しをもたせて書き込みをさせる。 ・ 構造的な板書をするので、どこをどのように読み確かめたのか視覚的にも、はっきりするようにする。 ・ 本時で読み確かめたことをふり返るときは、2人組で板書を手がかりに対話をさせてから書きまとめをさせる。 <p>○ まとめる段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元で習得、活用した読みアイテムをふり返り定着をはかる。 ・ 豆太の勇気ややさしさについてふり返り、読み取ったことをもとに自分を重ねながら、豆太にお手紙を書く。

このような目標を設定して学習指導を展開します

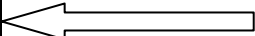
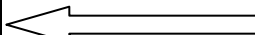
○ おくびょうな豆太が、じさまを助けるために勇気のある行動をとる姿を読み取り、本当の勇気とは人を思う優しい気持ちから生じることをとらえることができる。

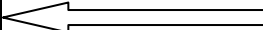
○ 「にた言葉と比べて読む・ダッシュを読む・場面と場面を比べて読む」読みアイテムを活用しながら、「語り手を読む・くり返しを読む・場面と場面をつないで読む」読みアイテムを習得することができる。

3 学習指導計画と評価規準（全13時間）

		評価規準	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述から読み取った人物の様子や気持ちを進んで話し合うことを通して、互いの感じ方の違いに気付いて自分の読みを見直そうとしている。 ・ 斎藤隆介の作品について興味をもち、進んで読もうとする。
過程	配時	主な学習活動と内容 (◎は見通す活動と見直す活動)	単位時間ごとの具体的な評価規準 数字は見通す活動・見直す活動での評価規準 ()は評価方法	
つかむ	1 / 13 (2組本時)	1 題名「モチモチの木」について話し合う。 2 小見出しと冒頭を読み、おくびょうな豆太について話し合う。 ◎ 題名を読み、冒頭から豆太のおくびょうさがわかる場所に線を引く。 (1) 豆太のおくびょうな様子について話し合う。 (2) 語り手の豆太に対する思いを話し合う。 ・ 豆太のおとうやじさまの勇敢な姿 ・ ダッシュにこめられた語り手の思い 3 題名と冒頭をつないで読みのめあてをつくる。 ◎ 題名と冒頭から読み取ったことをつないで読みのめあてをつくる。	① 豆太のおくびょうさや語り手の豆太への思いをもとに疑問を持っている。 (発言)	(活) さし絵を読む 夜になると恐ろしく見えるモチモチの木の様子を読む。 (活) 指示語を読む 「それなのに」は、おとうやじさまの勇敢な姿を指していることを読み取る。 (活) ダッシュを読む 語り手の豆太への思いをとらえる。 ① 題名、小見出し、さし絵などからモチモチの木をこわがる豆太の様子や気持ちを読み取っている。 (プリント)
	2 / 13	1 読みのめあてをもとに全文を読み通し、文章構成をつかむ。 ◎ 音読をして全文を読み通す。 2 音読の練習をする。 ◎ 場面構成をとらえる。 3 難語句・新出漢字について調べる。		
	4 / 13	1 読みのめあての答え(あらすじ)を300字以内で書きまとめる。 ◎ 場面ごとに豆太がしたこと在线上を引く。 ◎ あらすじがとらえられる叙述を場面ごとにおさえていることを確かめる。 2 読みのめあての答えを書きまとめる。		② さし絵をもとに、豆太がしたことを短くまとめている。 (プリント)

5 / 13	<p>1 読みのめあての答えをクラスで話し合う。</p> <p>◎ 読みのめあての答えを二人組で話し合う。</p> <p>2 自分の読みのめあての答えを見直し、書きまとめる。</p> <p>◎ 話し合ったことをもとに、見直しをする。</p>		③ 豆太がしたことを落とさずにまとめている。(プリント)
<p>読みのめあて①の答え</p> <p>豆太は、小屋の前に立っている大きな木にモチモチの木と名前をつけた。昼間は、木の実を落とせといばってさいそくしたりするが、夜になると、モチモチの木がこわくて、一人でしょんべんができなくなった。豆太は、霜月二十日のぼんの今夜、モチモチの木に灯がともるのを見たかったが、はじめからあきらめててしまった。真夜中に目をさますと、じさまが、はらがいたいと体を丸めてうなっていた。豆太は、医者をおよびにふもとの村までなきなき走った。豆太は、医者とお屋へ入るとき、モチモチの木に、灯がついているのを見た。次の朝、じさまが元気になると、そのぼんから、しょんべんにじさまを起こした。</p>			
6 ・ 7 / 13	<p>1 おくびょうな豆太がどうなっていったのか話し合う。</p> <p>◎ 読みのめあて①の答えをもとに、おくびょうな豆太がどうなったのか読みのめあて②の答えを短くまとめる。</p> <p>2 読みのめあて②の答えのあいまいなことを話し合い、学習計画を立てる。</p> <p>○ 豆太はどのようにおくびょうなのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やい、木い」 ・ 「霜月二十日のぼん」の場面から <p>○ 豆太は勇気があるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「豆太は見た」の場面から <p>○ 豆太はおくびょうにもどったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面から <p>◎ 場面ごとに、どの文を中心に詳しく読み確かめるか計画を立てる。</p>		④ 豆太がどうなったかわかる叙述に線を引いている。(プリント)
深める / 13	<p>読み確かめ①</p> <p>「やい、木い」の場面で、豆太がどれほどおくびょうなのか読み確かめる。</p> <p>1 めあてをつかむ。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>◎ 「やい、木い」の場面で豆太のおくびょうさが分かる中心文を確かめ、書き込みの視点と使えそうな読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 おくびょうな豆太の様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 書き込んだことをもとに、夜のモチモチの木をこわがる豆太のおくびょうな様子や気持ちを話し合う。</p> <p>◎ 二人組で詳しく読み確かめたことを話し合い、自分の読みに付加修正する。</p> <p>3 本時を振り返り、豆太に手紙を書く。</p>	<p>② 豆太がしたことをもとに、読みアイテムを使って、豆太の様子や気持ちを友だちの考えと比べながら読み取っている。</p> <p>(発言・プリント)</p>	<p>(活) 場面と場面をつないで読む</p> <p>1の場面で夜のモチモチの木をこわがっていた豆太の様子とつないで読むこと。</p> <p>⑤ ただの木なのに、怖がっている豆太の様子や気持ちを読みとっている。</p> <p>(プリント)</p>

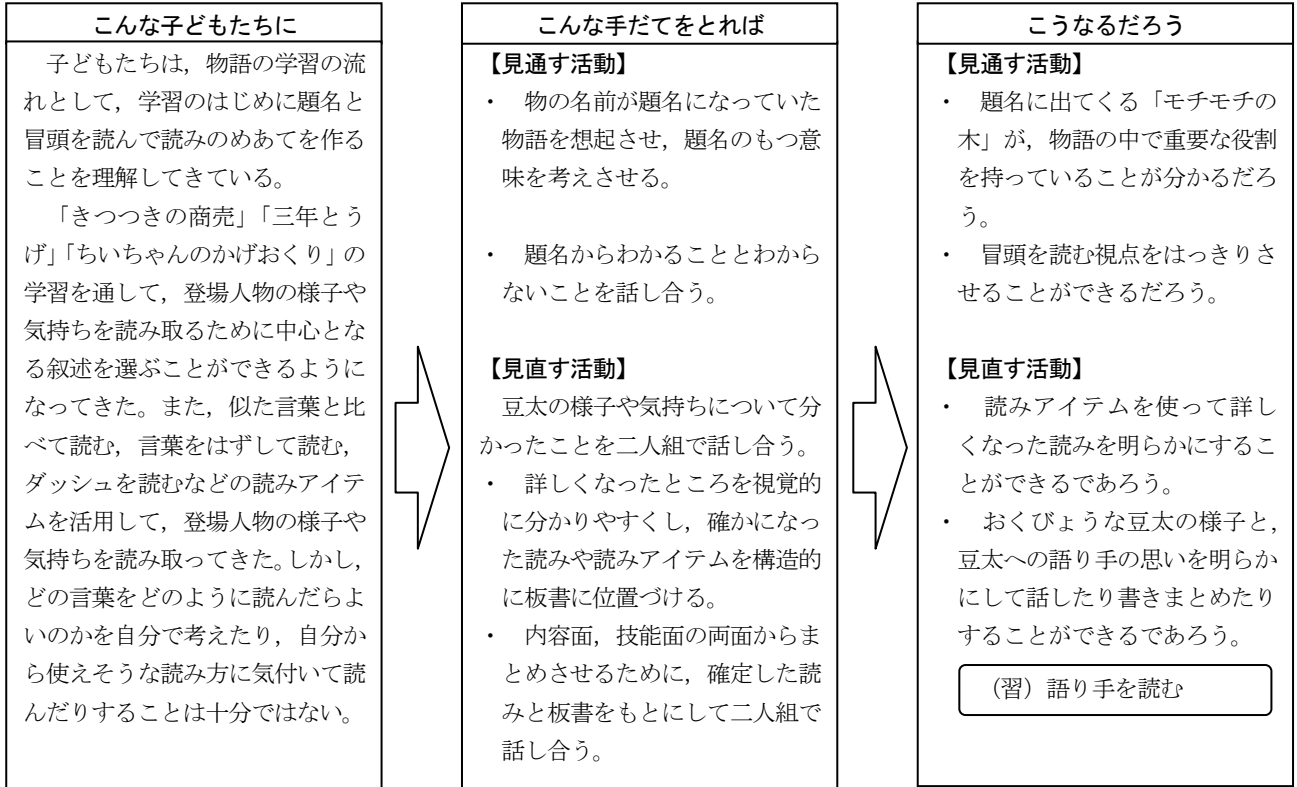
<p>9 / 13</p>	<p>読み確かめ②</p> <p>「霜月二十日のばん」の場面で、豆太がどれほどおくびょうなのか読み確かめる。</p> <p>1 めあてをつかむ。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>◎ 「霜月二十日のばん」の場面で豆太のおくびょうさが分かる中心文を確かめ、書き込みの視点と使えそうな読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 おくびょうな豆太の様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 書き込んだことをもとに、はじめからあきらめている豆太のおくびょうな様子や気持ちを話し合う。</p> <p>◎ 二人組で詳しく読み確かめたことを話し合い、自分の読みに付加修正する。</p> <p>3 本時を振り返り、豆太に手紙を書く。</p>		<p>(活) ダッシュを読む</p> <p>言葉にならない豆太の思いを想像して読む。</p> <p>⑥ はじめからあきらめてしまった豆太のおくびょうな様子や気持ちを読み取っている。 (プリント)</p>
<p>10 / 13 (3 組 本 時)</p>	<p>読み確かめ③</p> <p>「豆太は見た」の前半場面で、勇気のある豆太の様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 めあてをつかむ。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>◎ 「豆太は見た」の前半場面で豆太の勇気のある様子や気持ち分かる中心文を確かめ、書き込みの視点と使えそうな読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 勇気がある豆太の様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 「豆太はなきなき走った」から、勇気がある豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>(2) 「でも、大すきなじさまが～なきなき～走った」から、勇気がある豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>(3) 書き込んだことをもとに、医者様を呼びに行く勇気のある豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>◎ 二人組で詳しく読み確かめたことを話し合い、自分の読みに付加修正する。</p> <p>3 本時を振り返り、豆太に手紙を書く。</p>		<p>(活) 言葉ははずして読む</p> <p>冬の真夜中に1人で走るよりじさまが死んでひとりぼっちになることがもっとこわいことを読み取る。</p> <p>(習) くり返しを読む</p> <p>初めの「なきなき」は痛くて寒くてこわかったからであるが後の「なきなき」はじさまが死んでひとりぼっちになる不安な気持ちであることを読み取る。</p> <p>(活) 場面と場面をくらべて読む</p> <p>すぐにあきらめていた豆太が、痛さや寒さ、こわさを乗り越えて走った様子から勇気があることを読み取る。</p> <p>⑦ 真夜中に、一人で医者様を呼びに行く勇気のある豆太の様子や気持ちを読み取っている。 (プリント)</p>

	11 / 13	<p>読み確かめ④</p> <p>「豆太は見た」の後半場面で、勇気のある豆太の様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 めあてをつかむ。 (1) 本時場面を音読する。</p> <p>◎ 「豆太は見た」の後半場面で豆太の勇気のある様子や気持ち分かる中心文を確かめる。</p> <p>2 モチモチの木に灯がついたのを見た豆太の様子や気持ちを話し合う。 (1) 書き込んだことをもとに、灯がついたモチモチの木を見た豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>◎ 二人組で詳しく読み確かめたことを話し合い、自分の読みに付加修正する。</p> <p>3 本時を振り返り、豆太に手紙を書く。</p>		<p>⑧ モチモチの木に灯がついたのを見た豆太の様子や気持ちを読み取っている。(プリント)</p>
	12 / 13	<p>読み確かめ⑤</p> <p>「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面で、もとのおくびょうな豆太にもどったのか、豆太の様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>1 めあてをつかむ。 (1) 本時場面を音読する。</p> <p>◎ 豆太の様子や気持ち分かる中心文を確かめ、書き込みの視点と使えそうな読みアイテムを話し合う。</p> <p>2 じさまの話聞く豆太の気持ちを考える。 (1) じさまを起こす豆太はおくびょうに戻ったのか話し合う。</p> <p>◎ 二人組で詳しく読み確かめたことを話し合い、自分の読みに付加修正する。</p> <p>3 本時を振り返り、豆太に手紙を書く。</p>		<p>(活) 場面と場面を比べて読む</p> <p>1の場面の豆太の行動と比べて、行動は同じであるが、心は成長している豆太の様子や気持ちを読み取る。</p> <p>⑨ じさまをしょんべんに起こす豆太のおくびょうな様子や気持ちを読み取っている。(プリント)</p>
ま と め る	13 / 13	<p>1◎ 本単元で活用した読み方や詳しく読んできたことを振り返る。</p> <p>2◎ 豆太の勇気について振り返り、自分と重ね合わせながら豆太に手紙を書く。</p>	<p>③ 豆太の勇気と自分を重ねながら勇気について考えている。(発言)</p>	<p>⑩ 読み取ったことを振り返り、自分と比べながら豆太に手紙を書いている。(プリント)</p>

5 本時の目標

- モチモチの木をこわがって一人ではしょうべんもできないおくびょうな豆太に対して、語り手がどのように思っているかを読み取ることができる。
- 「挿絵を読む、指示語を読む、ダッシュを読む」読みアイテムを使って、豆太の様子や気持ち内容を読み取り、題名とつないで読みのめあてをつくることができる。

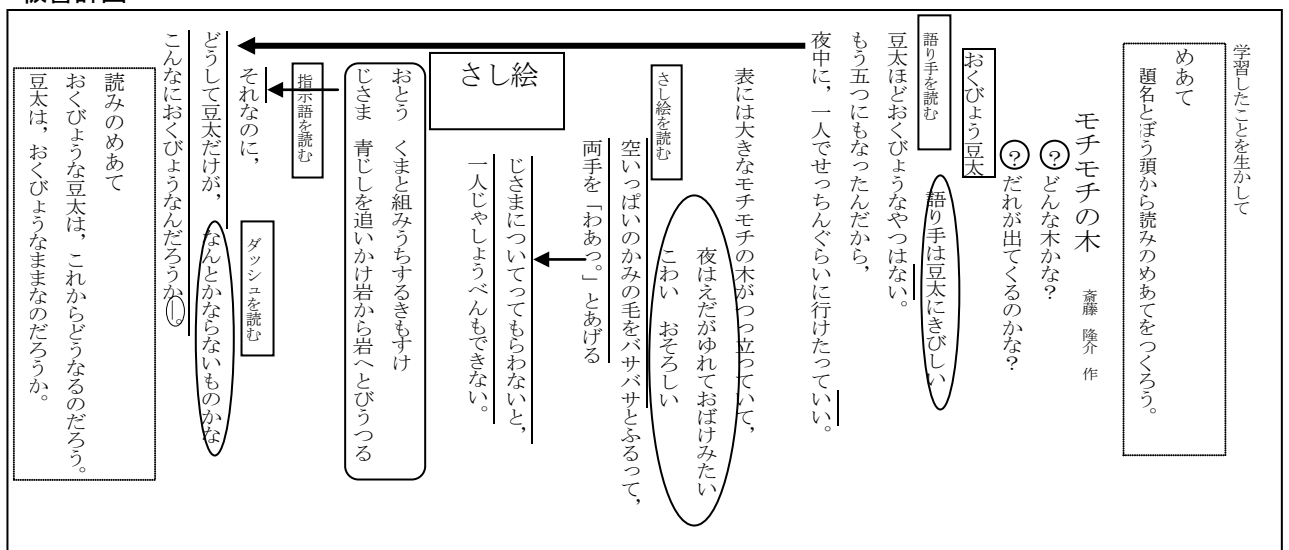
6 本時の授業仮説





7 準備

- 教師…前単元までの学習で習得した読みアイテム(掲示物)
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



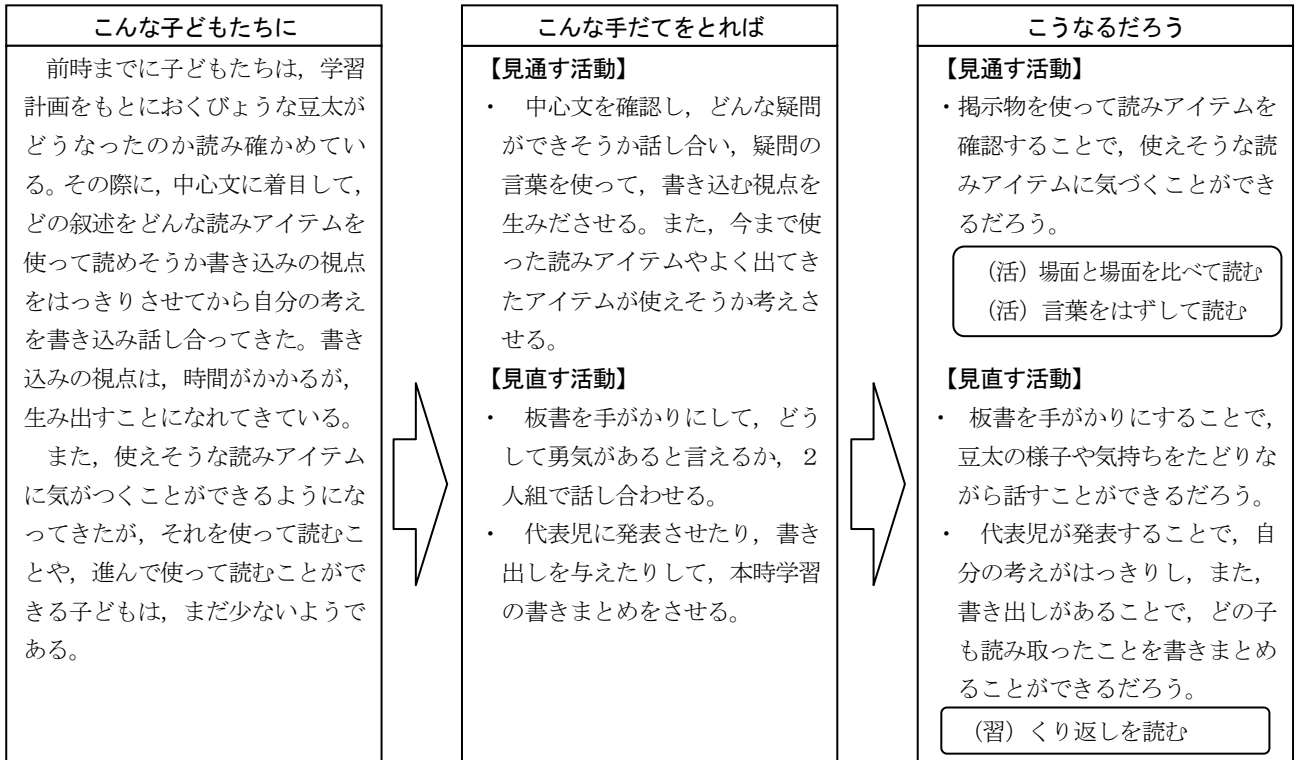
9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="193 264 1378 344" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 題名とぼう頭から読みのめあてをつくろう。</p> </div> <p>2 題名と冒頭を読み、おくびょうな豆太の様子や語り手の豆太に対する思いについて話し合う。</p> <p>(1) 見通す活動を行う。</p> <div data-bbox="145 495 775 875" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【見通す活動】 今までに学習した題名について、題名にこめられたものを思い出し、考えたことを発表する。</p> <div data-bbox="161 629 762 853" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>もの名前が題名になっているので、「三年とうげ」と似ていると思います。 モチモチの木ってどんな木なのかな。題名を読んでも、誰が出てくるかまだわかりません。 モチモチの木がこれからお話の中で大事になってくると思います。</p> </div> </div> <p>(2) 冒頭を音読する。</p> <p>(3) 豆太の様子分かる叙述に線を引き、自分の考えを書く。</p> <p>(4) 豆太のおくびょうな様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モチモチの木をこわがる豆太の様子 <p>(5) 語り手の豆太に対する思いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豆太のおとうやじさまの勇敢な姿 ○ ダッシュにこめられた語り手の思い <p>3 本時学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) 読みのめあてをつくる。</p> <div data-bbox="169 1330 762 1447" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>読みのめあて おくびょうな豆太は、これからどうなるのだろう。 豆太は、おくびょうなままなのだろうか。</p> </div> <p>(2) 見直す活動をする。</p> <div data-bbox="169 1503 762 1854" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【見直す活動】 話し合いを通して分かったおくびょうな豆太の様子を二人組で話し合う。</p> <div data-bbox="185 1637 746 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>・ 豆太は、夜になるとモチモチの木がおばけのように動くのがこわくて、一人ではしょうべんに行けないよ。だけど、語り手は、豆太のおとうやおじいと豆太をくらべて、豆太のおくびょうがなんとかならないかと思っていたよ。</p> </div> </div> <p>(3) 本時学習で分かった事を入れて、豆太へ手紙を書く。</p>	<p>指導・支援(☆は習得, ★は活用)</p> <div data-bbox="826 454 1426 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ モチモチの木が話の中で重要な役割を持っていることをとらえさせる。 ○ 題名からわかることとわからないことを話し合うことで、冒頭を読む視点をはっきりさせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題名から知りたいことが冒頭に出てきているか確かめながら、聞いたり読んだりさせる。 <div data-bbox="826 920 1417 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★ さし絵を読む 挿絵と叙述をつないで、夜になると恐ろしく見えるモチモチの木の様子を詳しく読む。</p> </div> <div data-bbox="826 1066 1417 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★ 指示語を読む 「それなのに」の内容を読むことで、おとうやじさまの勇敢な姿をとらえさせる。</p> </div> <div data-bbox="826 1200 1417 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★ ダッシュを読む 豆太のおくびょうさに対する語り手のもどかしい気持ちを読む。</p> </div> <div data-bbox="826 1335 1417 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆ 語り手を読む 語り手の豆太に対する思いを読み取らせる。</p> </div> <div data-bbox="826 1581 1426 1921" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 確かになった読みと、使った読みアイテムを構造的に板書に位置づける。 ○ 内容面、技能面の両面からまとめさせるために確定した読みと板書をもとにして二人組で話し合う。 <div data-bbox="842 1783 1410 1899" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆ 語り手を読む 冒頭と語り手の思いをつないで詳しく読んだことで、読みのめあてができたことを確かめる。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書きまとめることができていない子どもには、板書を指し示したり、書き出しを与えたりして書かせる。

5 本時の目標

- 「豆太は見た」の前半の場面で、豆太がじさまを助けるために真夜中に一人で医者様を呼びになきなき走る様子や気持ちを読み取り、豆太の勇気ある行動について読み確かめることができる。
- 「言葉をはずして読む・場面と場面を比べて読む」読みアイテムを活用しながら、「くり返しを読む」読みアイテムを習得することができる。

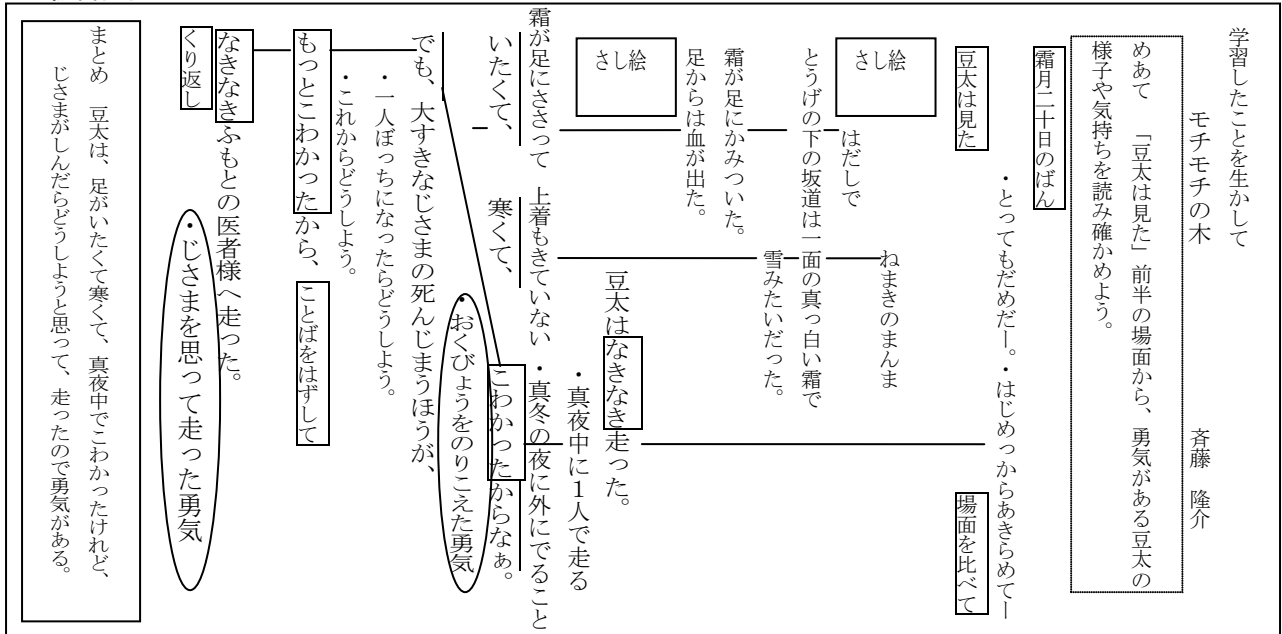
6 本時の授業仮説





7 準備

- 教師…さし絵、読みアイテムカード、前時までの学習の足跡がわかる掲示物
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時のめあてを確かめ, 学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="220 300 1166 383" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「豆太は見た」の前半の場面から, 勇気がある豆太の様子や気持ちを読み確かめよう。</p> </div> <p>(2) 音読する。</p> <p>(3) 見通す活動を行う。</p> <div data-bbox="161 461 759 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見通す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心文で, どの言葉をどのようにくわしく読んだらよいかを, また, 使えそうな読みアイテムを確認する。 <div data-bbox="172 645 236 719" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="268 600 727 797" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どこがいたいのかな。なぜいたいのかな。 ・どうして寒いのかな。なぜこわいのかな。 ・もっとをはずして読めそうだな。 ・もつとなによりこわいのかな。 ・場面と場面をつないで読めそうだな。 </div> </div>	<p>○ 学習計画をもとに, 本時で読み確かめることや中心文を確認する。</p> <p>○ 会話文や豆太の様子に気をつけながら, 音読する。</p> <div data-bbox="799 477 1401 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中心文と疑問を確認し, 書き込む視点をはっきりさせる。 ○ 今まで使った読みアイテムやよく出てきたアイテムが使えそうか考えさせる。 <div data-bbox="842 658 1362 757" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 場面と場面を比べて読む ★ 言葉をはずして読む </div> </div>
<p>2 豆太の様子や気持ちを考える。</p> <p>(1) 中心文に書き込みをする。</p> <p>(2) 勇気がある豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>① 「豆太はなきなき走った。」から, 勇気があることがわかる言葉に書き込みをする。</p> <p>○ 足が痛くても, 真夜中でこわくても, 冬の夜寒くても, 医者様のもとへ走った豆太の様子</p> <p>② 「でも, 大すきなじさまが～なきなき～走った。」から, 勇気がある豆太の様子や気持ちを話し合う。</p> <p>○ 痛さやこわさよりも, じさまのことを大切に思う豆太の気持ち</p>	<p>○ 「いたくて」を「はだしで」「霜が足にかみついた」「足からは血が出た」とつないで, 我慢して走った豆太の様子をとらえさせる。</p> <p>○ 「寒くて」を「ねまきのまんま」「一面の真っ白い霜で～」とつないで, 冬の寒い夜に走った豆太の様子をとらえさせる。</p> <p>○ 「こわかった」のは, 真夜中に1人で半道もあるふもとまで走ったことをとらえさせる。</p> <div data-bbox="799 1088 1417 1249" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★ 場面と場面をくらべて読む</p> <p>前の場面とつないで, すぐにあきらめていた豆太が, 痛さや寒さ, こわさを乗り越えて走った様子から勇気があることをとらえさせる。</p> </div> <div data-bbox="799 1263 1417 1424" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★ 言葉をはずして読む</p> <p>もつとをはずして読む読み方を使って, 冬の真夜中に1人で走るよりじさまが死んでひとりぼっちになることがもつとこわいことについてとらえさせる。</p> </div> <div data-bbox="799 1451 1417 1612" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ くり返し読む</p> <p>初めの「なきなき」はいたくて寒くてこわかったからであるが後の「なきなき」はじさまが死んでひとりぼっちになる不安な気持ちであることをとらえさせる。</p> </div> <p>○ 痛さやこわさよりじさまのことを思って走った様子から, 勇気があることをとらえさせる。</p>
<p>3 本時学習をふり返り, まとめる。</p> <p>(1) 見直す活動を行う。</p> <div data-bbox="145 1771 775 2018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見直す活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勇気がある豆太の様子や気持ちについて読み確かめたことを2人組で話し合う。 <div data-bbox="156 1895 220 1968" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="236 1895 759 1995" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太は, 足が痛くて, 寒くて, 真夜中でこわかったけどじさまが死んだらどうしようと思って走って行ったので勇気があると思うよ。 </div> </div>	<p>○ 板書を手がかりにして, どうして勇気があると言えるか, 2人組で話し合わせる。</p> <p>○ 代表児に発表させたり, 書き出しを与えたりして, 本時学習の書きまとめをさせる。</p> <div data-bbox="858 1939 1187 1989" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ くり返しを読む</p> </div>